

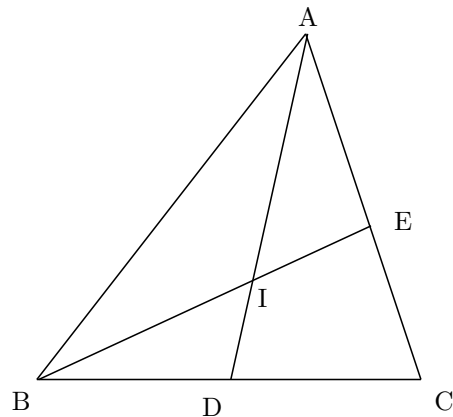
## 内心と外心

下の問題、綺麗すぎると思ったらやはり有名な問題でした。

14 信州医学後期  $\triangle ABC$  において、 $BC=a, CA=b, AB=c$  とおく。  
また、 $\triangle ABC$  の外心を  $O$ 、内心を  $I$  とおき、外接円の半径を  $R$  とおく。

- (1)  $\vec{OI} = \frac{a\vec{OA} + b\vec{OB} + c\vec{OC}}{a+b+c}$  を示せ。  
(2)  $|\vec{OI}|^2 = R^2 - \frac{abc}{a+b+c}$  を示せ。

受験生の出来は良かったそうだ (医学部だしなあ)。やり方もいろいろありそうだが。



(1)  $AD, BE$  はそれぞれ角  $A, B$  の 2 等分線として左図のように点を決めると、角の 2 等分線の性質より  $BD:DC = c:b, CE:EA = a:c$   
メネラウスの定理より  $AI:ID = b+c:a$   
よって  $\vec{OI} = \frac{(b+c)\vec{OD} + a\vec{OA}}{a+b+c}$   
$$= \frac{(b+c)\frac{b\vec{OB} + c\vec{OC}}{b+c} + a\vec{OA}}{a+b+c}$$
  
$$= \frac{a\vec{OA} + b\vec{OB} + c\vec{OC}}{a+b+c}$$

(2) さて計算。  $|\vec{OA}| = |\vec{OB}| = |\vec{OC}| = R$

$$c^2 = |\vec{OB} - \vec{OA}|^2 = R^2 + R^2 - 2\vec{OA} \cdot \vec{OB} \text{ より } \vec{OA} \cdot \vec{OB} = R^2 - \frac{c^2}{2}$$

$$\text{同様に } \vec{OB} \cdot \vec{OC} = R^2 - \frac{a^2}{2}, \vec{OC} \cdot \vec{OA} = R^2 - \frac{b^2}{2}$$

準備完了。

$$|\vec{OI}|^2 = \frac{1}{(a+b+c)^2} |a\vec{OA} + b\vec{OB} + c\vec{OC}|^2$$

$$= \frac{1}{(a+b+c)^2} \{ (a^2 + b^2 + c^2)R^2 + 2(ab\vec{OA} \cdot \vec{OB} + bc\vec{OB} \cdot \vec{OC} + ca\vec{OC} \cdot \vec{OA}) \}$$

$$= \frac{1}{(a+b+c)^2} \{ (a^2 + b^2 + c^2)R^2 + 2ab(R^2 - \frac{c^2}{2}) + 2bc(R^2 - \frac{a^2}{2}) + 2ca(R^2 - \frac{b^2}{2}) \}$$

$$= \frac{1}{(a+b+c)^2} \{ (a^2 + b^2 + c^2 + 2ab + 2bc + 2ca)R^2 - abc(a+b+c) \}$$

$$= R^2 - \frac{abc}{a+b+c}$$

問題はこれまでだが、

$$\text{さらに } \triangle ABC = S, \text{ 内接円の半径を } r \text{ とすると } S = \frac{r}{2}(a+b+c) = \frac{1}{2}ab \sin C = \frac{1}{2}ab \frac{c}{2R} = \frac{abc}{4R}$$

よって、 $\frac{abc}{a+b+c} = 2rR$  であることに注意すると

$$|\vec{OI}|^2 = R^2 - 2rR$$

初等幾何の本ではこっちの形が出ているほうが多いかな。

さて、これで終わりだともったいないんだな。

この公式は、九点円と内接円が接するという証明に使える。

その入口まで紹介しようというのがこのプリント。この証明は他のところでもすることにする。(別プリント「三角形の五心をベクトルで探る」)

まず、垂心を  $H$  とすると (記号は左の問題と同じとして)

(1)  $\vec{OH} = \vec{OA} + \vec{OB} + \vec{OC}$  を示せ。

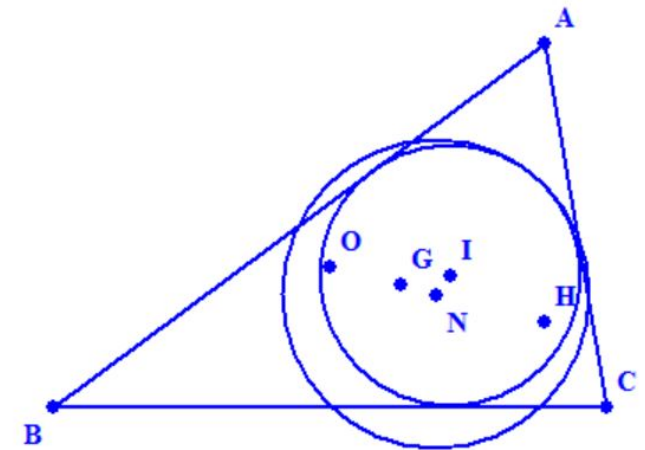
これが示せると、重心  $G$  は  $\vec{OG} = \frac{\vec{OA} + \vec{OB} + \vec{OC}}{3}$  だから

(2) 外心と重心と垂心は一直線 (Euler 線 (オイラー) という) 上に並ぶことを示せ。

ここまでは、参考書にもよくある。さらに進もう。

(3) 各辺の中点と各頂点から対辺におろした垂線の足と、 $AH, BH, CH$  の中点は同一円周 (これが九点円) 上にあることを示せ。(ヒント この中心  $N$  はまた Euler 線上にある)

(4) 内接円と九点円は接する (フォイエルバッハの定理という) ことを示せ。



初等幾何の本を見ても (4) は複雑です。これらの解答は「三角形の五心をベクトルで探る」で。